

地球のギプス

ドライマット



施工要領書

2023年1月



クリアーシステム株式会社

目次

準備品.....	3
敷設前に.....	5
ドライマット敷設.....	6
施工例.....	14
特殊使用.....	25
保管.....	28
問合せ.....	29

準備品

1, ドライマット



種 類	10m	5 m	2 m
普通セメントタイプ	29kg	15kg	6kg
軽量セメントタイプ	15.5kg	8kg	3kg
羽根付タイプ	防 草 特 化 型		

2, 固定用アンカーピン+パッド



種 類	用 途	寸 法	重量(袋)
固定釘型	硬質地盤用	5.5Φ×L250	2.7kg
コの字型	軟質地盤用	6Φ×35×L250	6.1kg
コの字型	田・畑・防草用	4Φ×35×L250	2.8kg

(50本入り/袋)

異形L型	D10mm × L200mm(200本/箱)	25.0kg
	D10mm × L300mm(100本/箱)	17.5kg
	D10mm × L450mm(100本/箱)	25.5kg

L型の材質は【鉄】 【メッキ】の2種類

3, その他

- ・ハンマー



- ・粘着テープ(状況により使用)



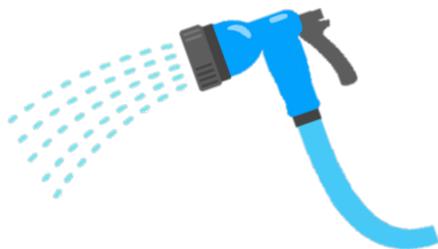
- ・シリコンコーキング(状況により使用)



- ・マルチシート(防草効果向上)



- ・水(散水または雨水)



敷設前に

※ドライマットは茶色(緑色)の防草シートが表になるよう敷設して下さい。裏面のビニールが遮水する事で地山への水の浸透を防ぎます。

※ドライマット(以下-マットと表記)の硬化前は柔らかい為、地形の凹凸にフィットして敷設できますが、敷設前に草木の伐採・伐根・均しを行う事で地面とマットの隙間を無くし、マットがより地山保護効果を発揮します。

※必ず足場の確保をして下さい。マットは重量が最大 30kg 近くなるので、バランスを崩して転倒する恐れがあります。又、転落の恐れがある場所では転落防止の処置を行って下さい。

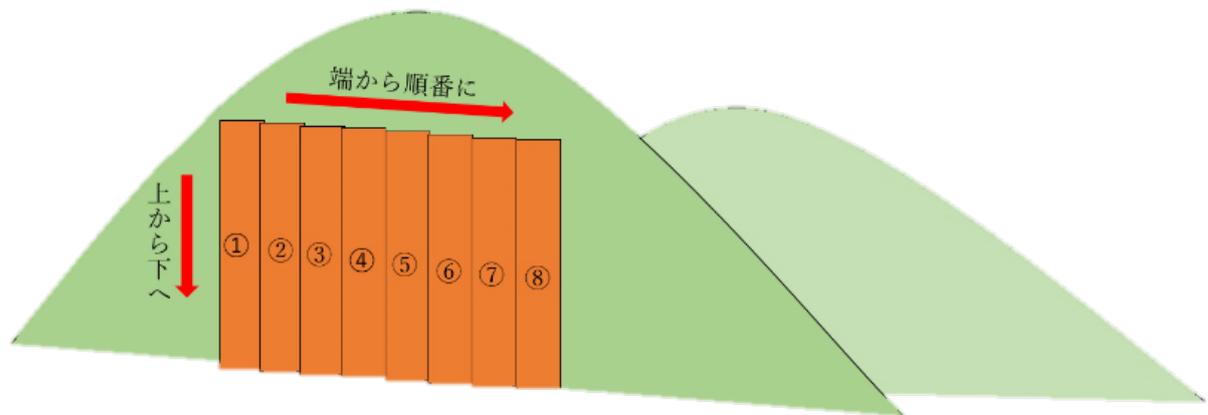
※マットを傷つけないようにして下さい。中身のセメントが漏れ出る恐れがあります。裏面はビニールですので特に注意して下さい。

ドライマット敷設

I. 敷設ポイント

上部・端からマットを敷く

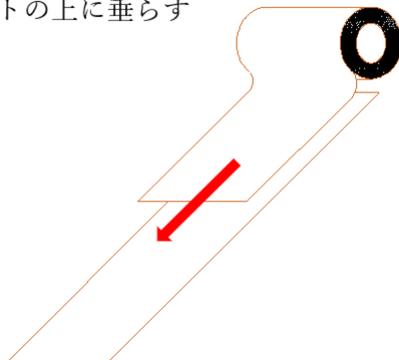
※横張り(鎧張り)方法もあります P18



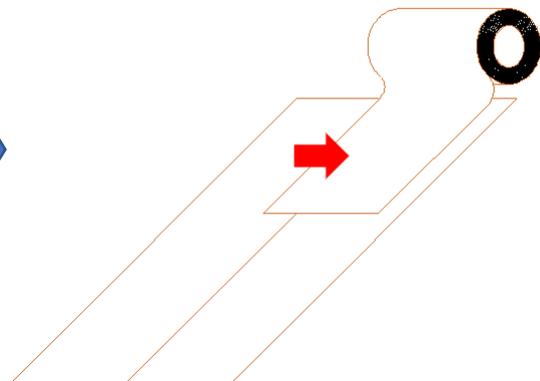
おすすめ敷設方法

2枚目以降は、斜面上部よりマットのロールを持って、先に貼ったマット上を斜面の上から解くように降ろしていくとマットが傷つきにくいです。

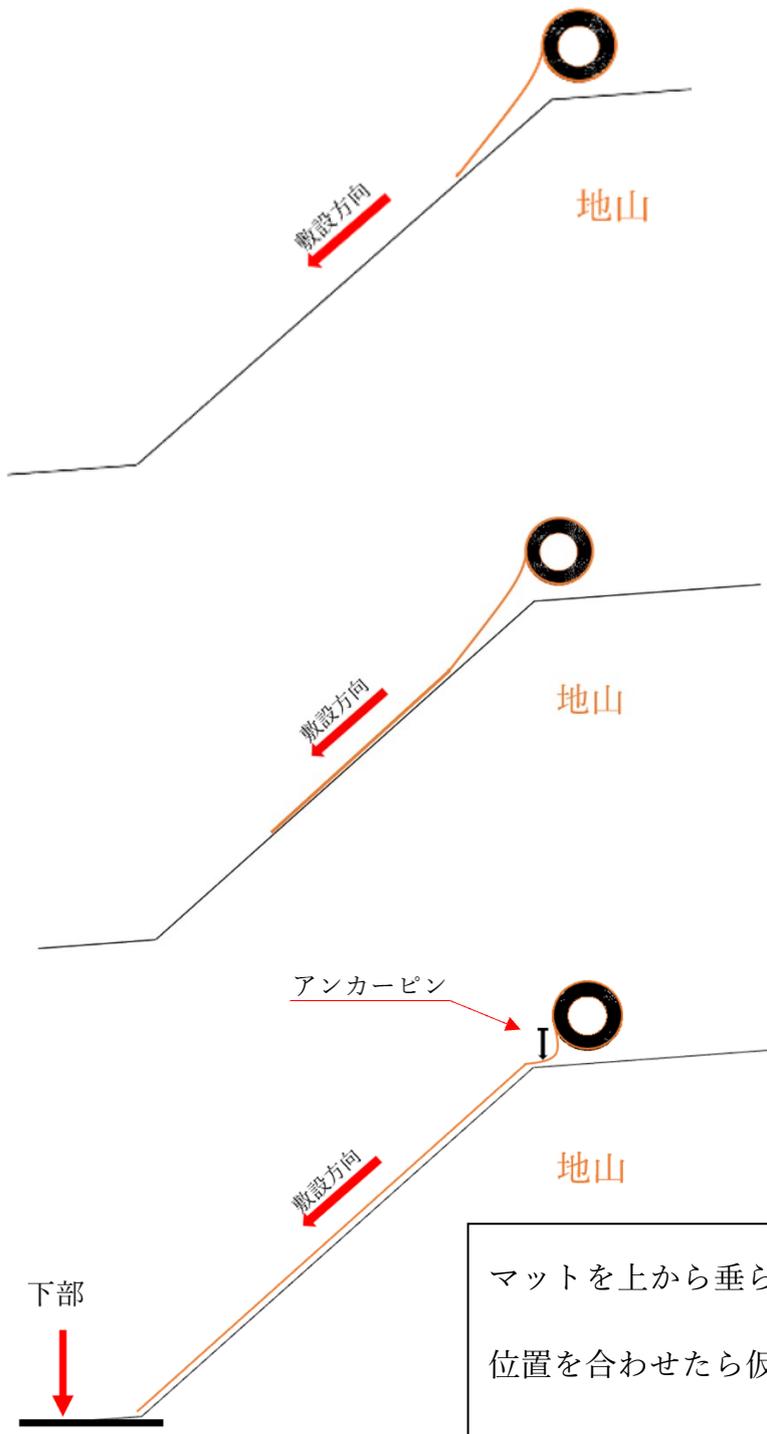
法肩でロールを回転させながら
マットの上に垂らす



マットを横にスライドさせる



ずり落ち・空洞化防止の仮止め



マットを上から垂らして下部の位置を合わせたら仮止めし、ずり落ちないように固定します。

防草特化タイプ(羽根つき)の場合



羽根付タイプは防草特化型となっています。両サイド黒マルチシートの効果により、マット重ね部分の光の浸入を遮断する事で防草効果を向上させています。



上になるマットの片側を内側に折り曲げる



マルチが重なるようにマットをラップさせる



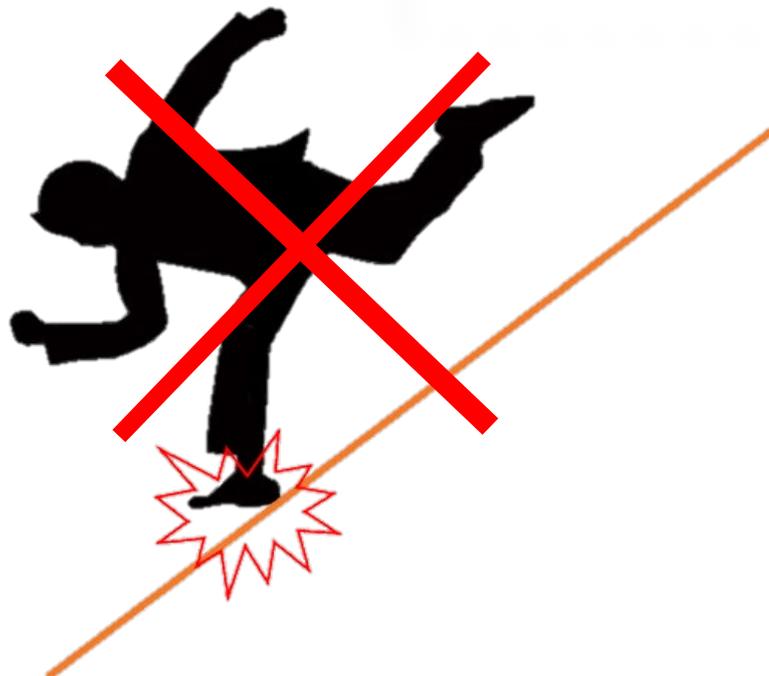
光を完全に遮断し、草木を生えさせない

できるだけマットの上に乗らない



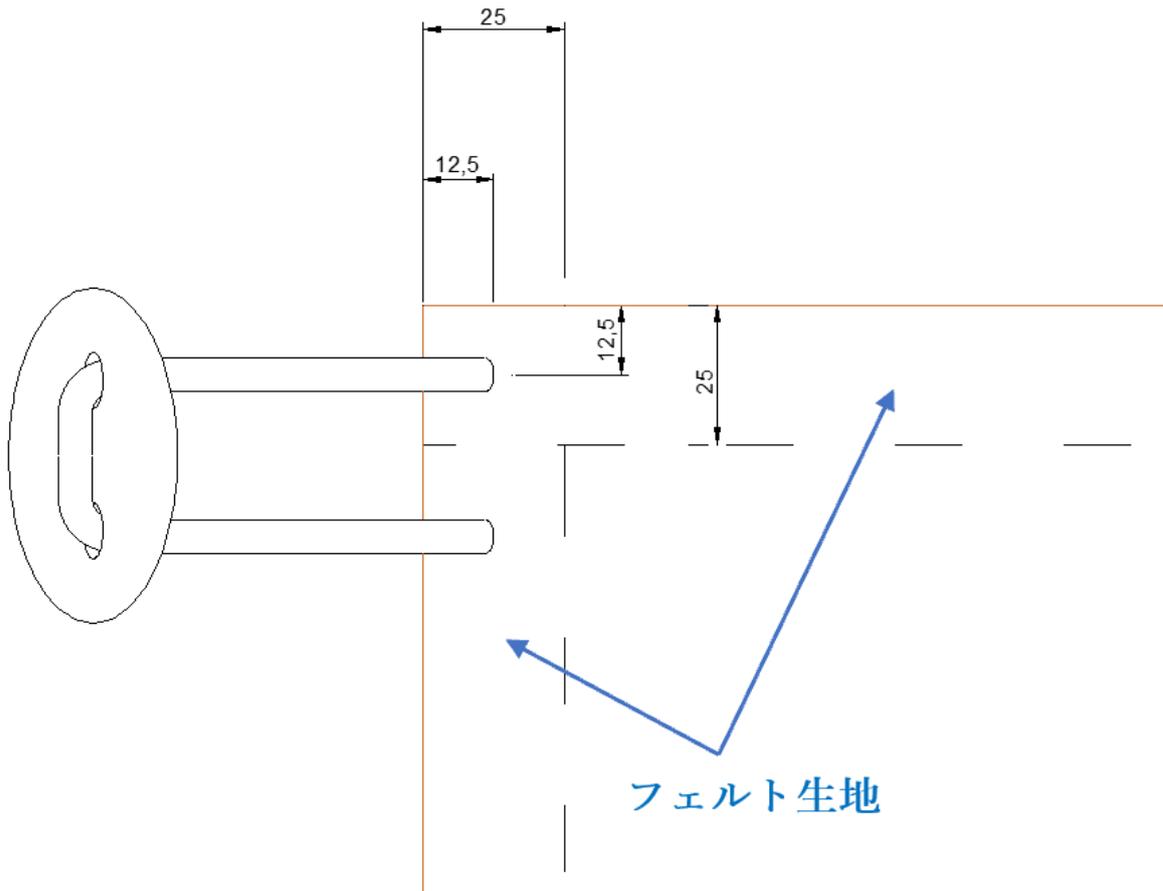
硬化していない状態のマットの上を走ったり、飛び跳ねると破損の原因となります。

どうしても必要な場合はゆっくり歩くなど、マットにダメージが残らないように注意して下さい。



II.杭打ポイント

アンカーピン杭打位置

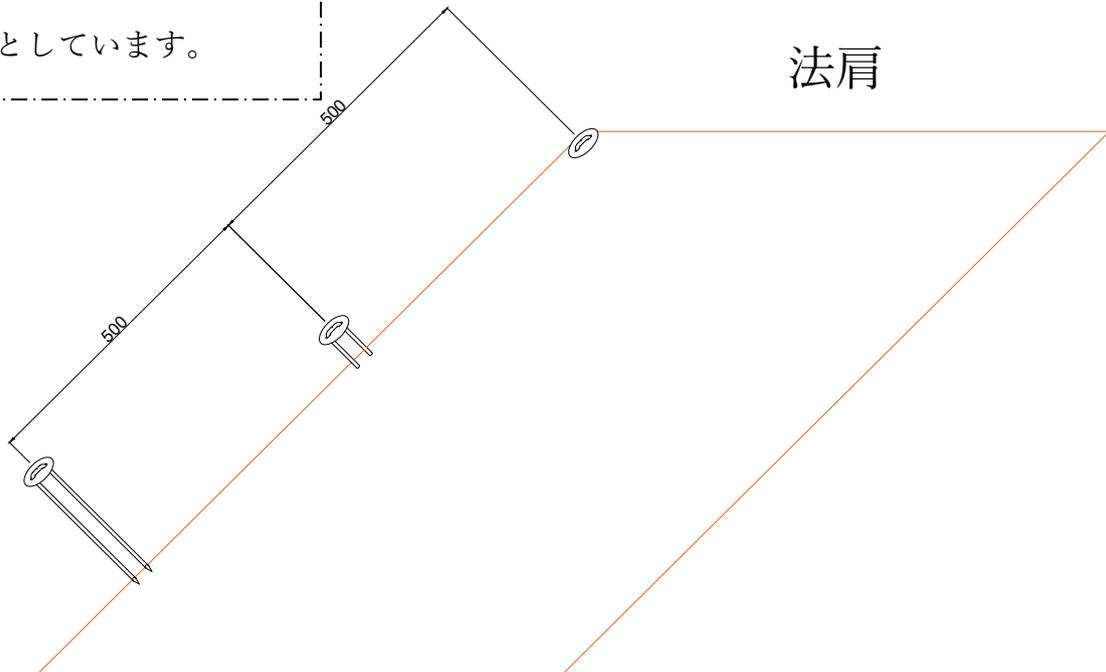


マットは端から 25mm の位置までフェルトになっています。

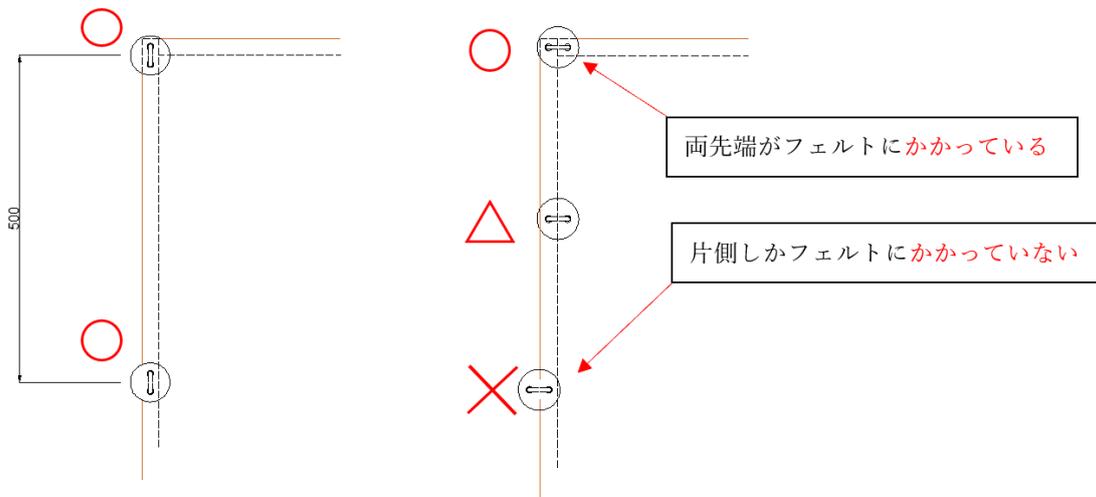
アンカーピンはできるだけフェルト中心部に打って下さい。

アンカーピン留めは上部から

杭打ピッチ(間隔)は 500mm
を基準としています。

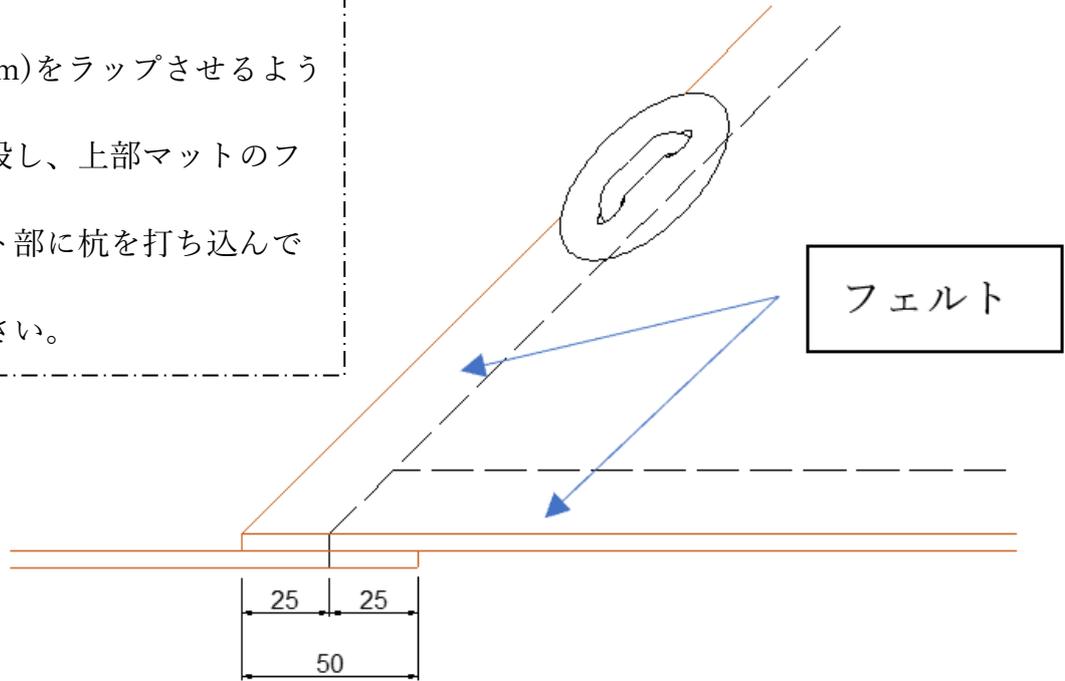


コの字杭は両先端がフェルト上にかかるよう設置して下さい。

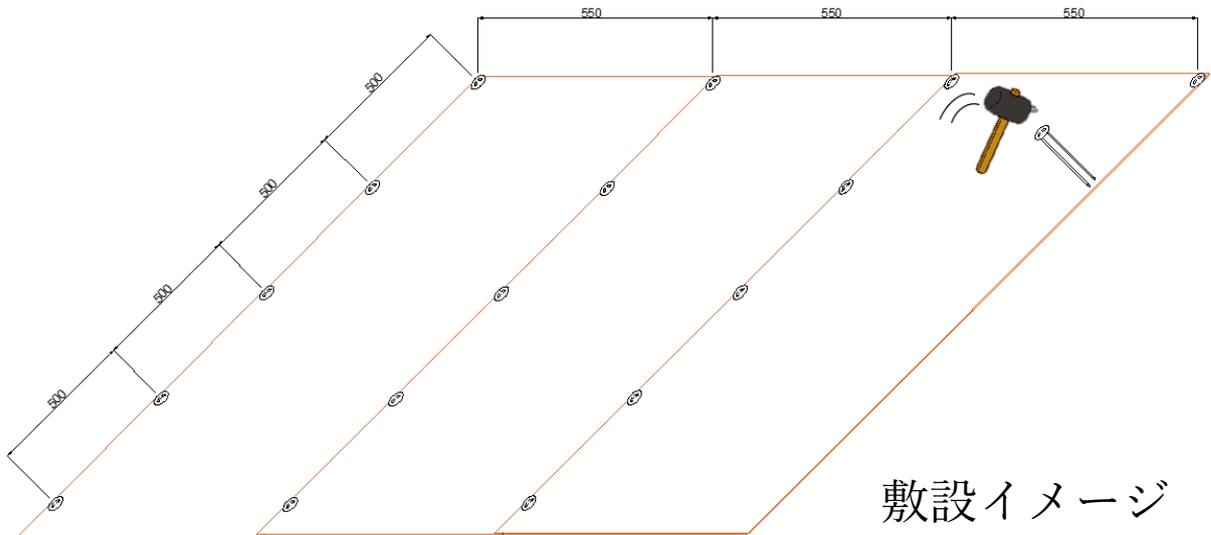


Ⅲ.重ね張り

マット重ね時は、フェルト
(25mm)をラップさせるよう
に敷設し、上部マットのフ
ェルト部に杭を打ち込んで
ください。

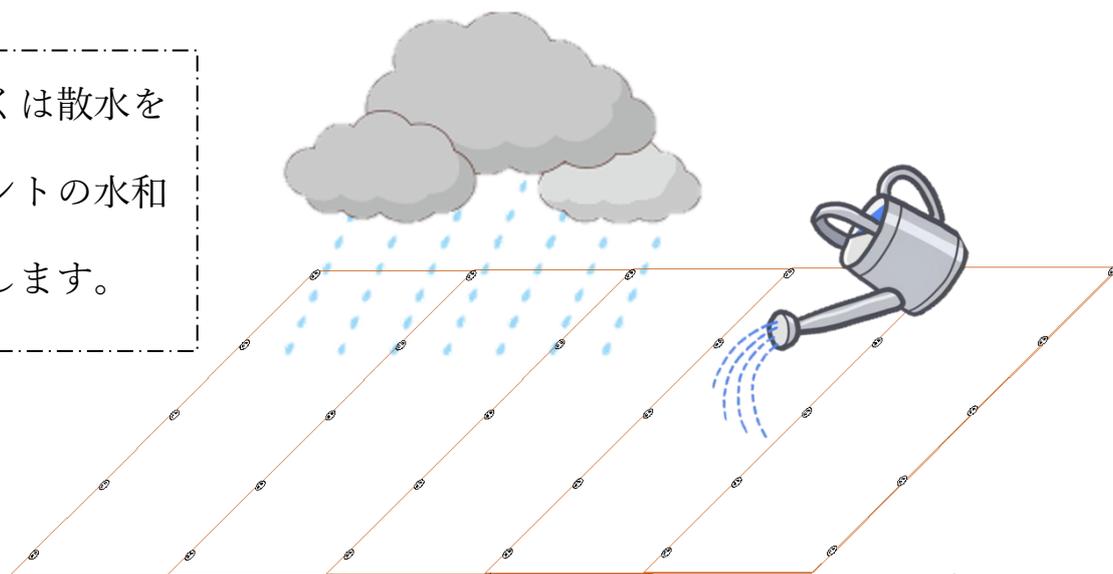


※羽根タイプの場合はP8に記載



IV.散水

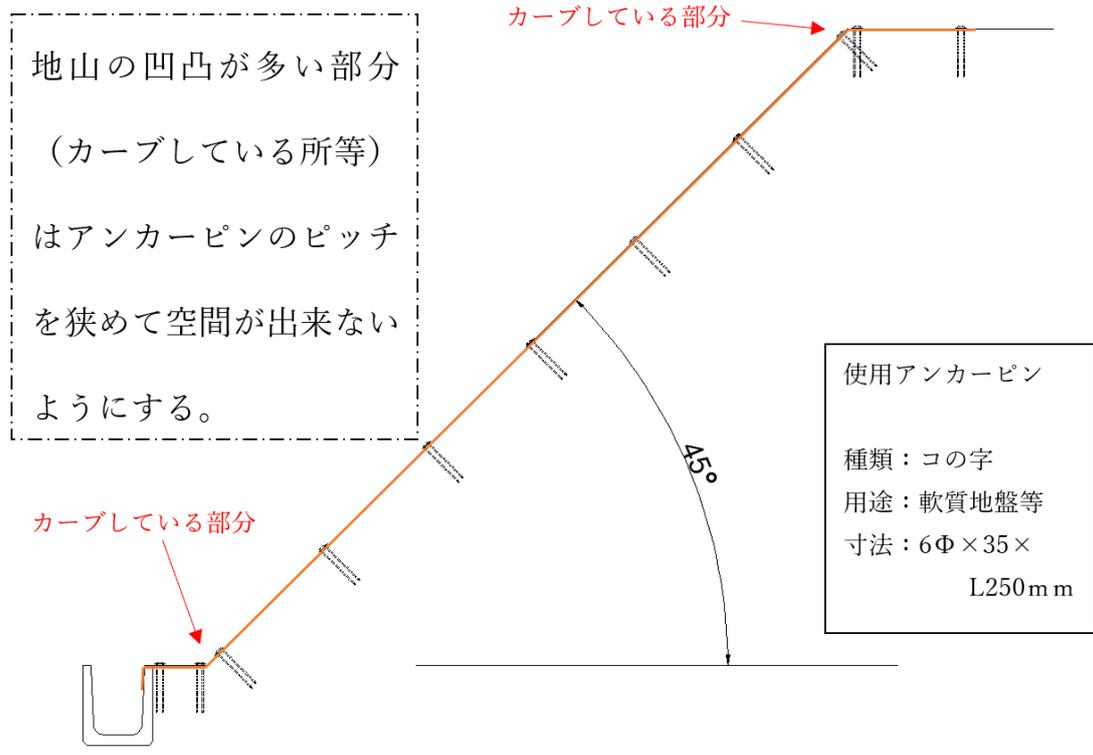
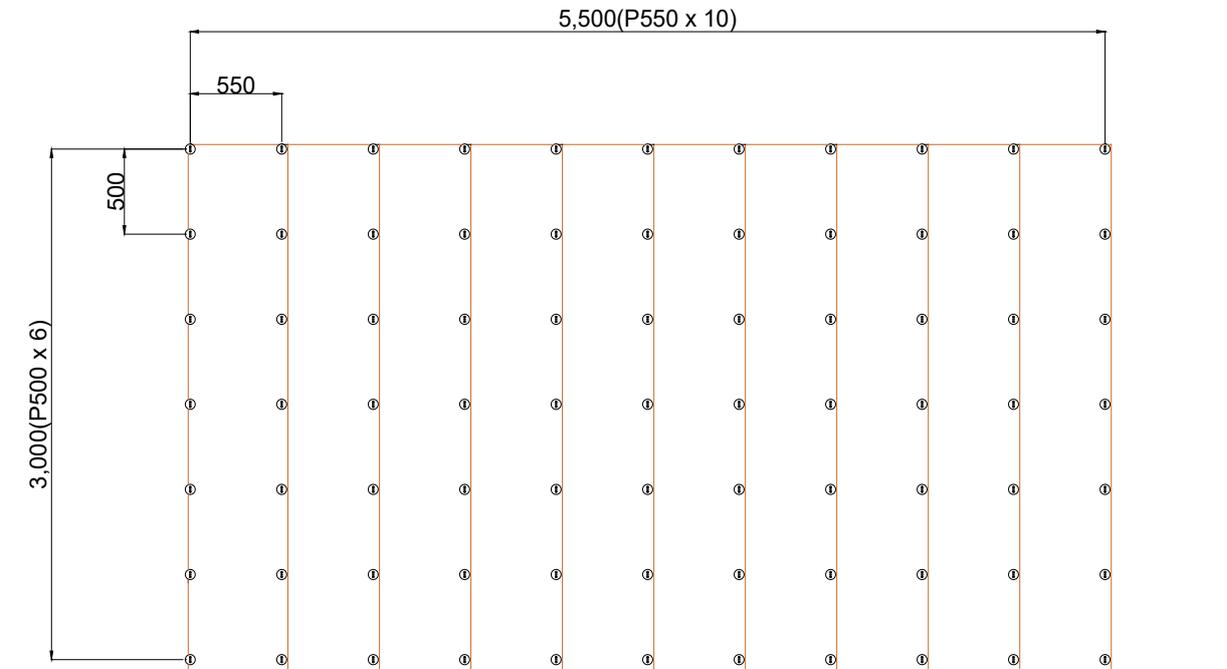
雨、もしくは散水を行
いセメントの水和反
応を促します。



10mm/h の降雨量で 10 分以上散水すると水和反応が始まります。

施工例

例1. 法面保護



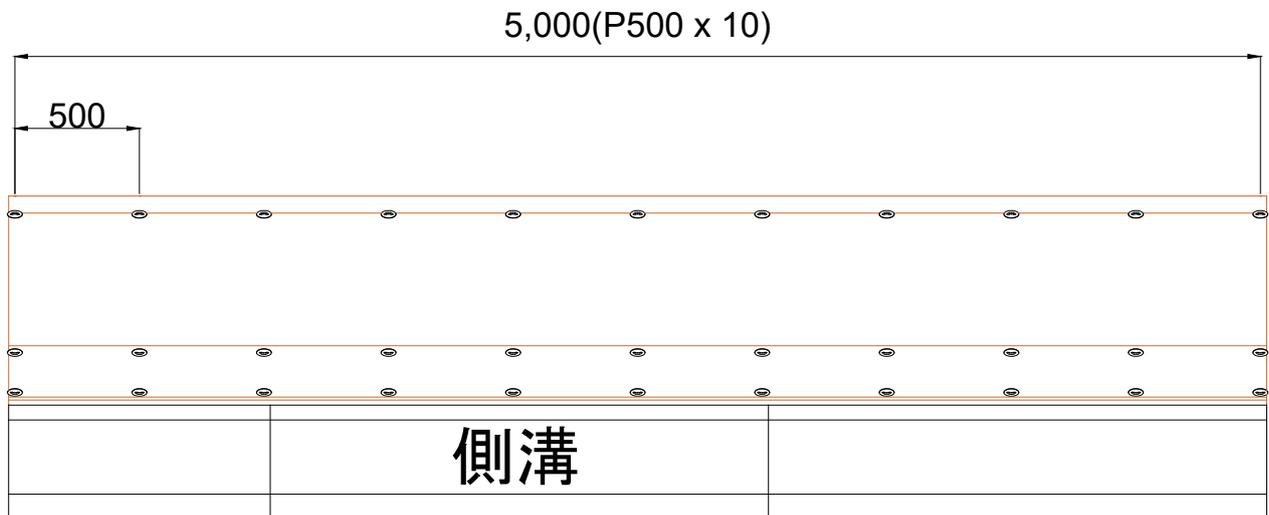


法面保護 127.5 m²

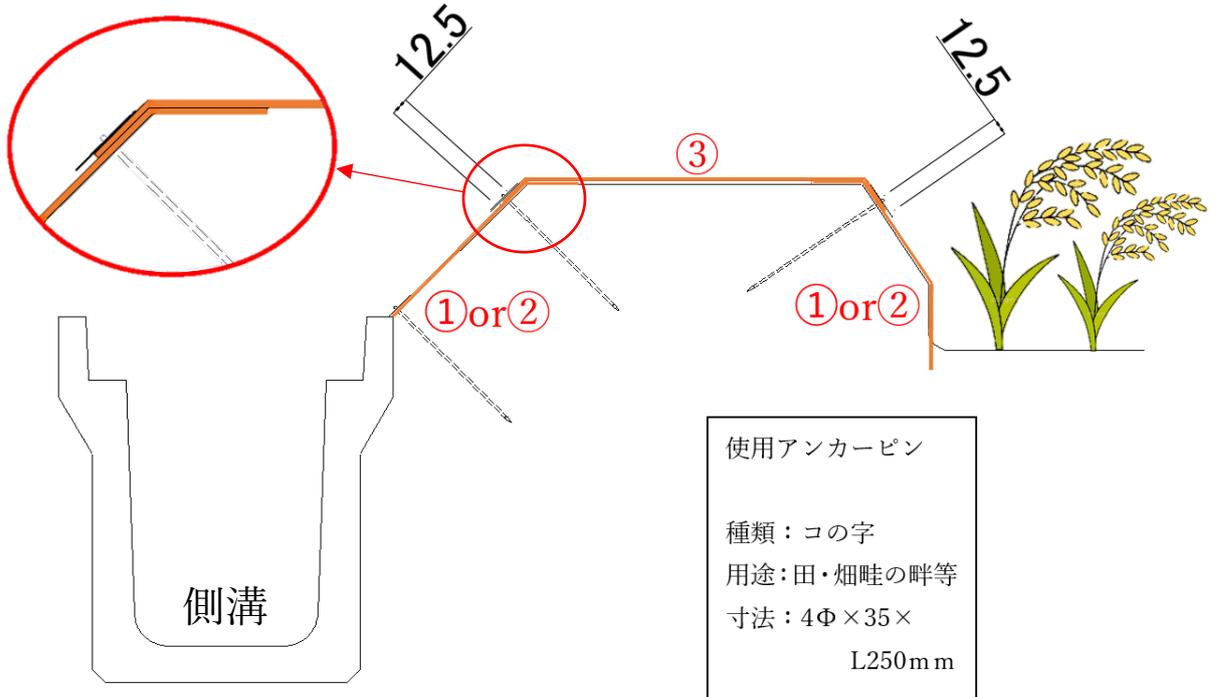


法面保護 54.6 m²

例2. 畦畔保護



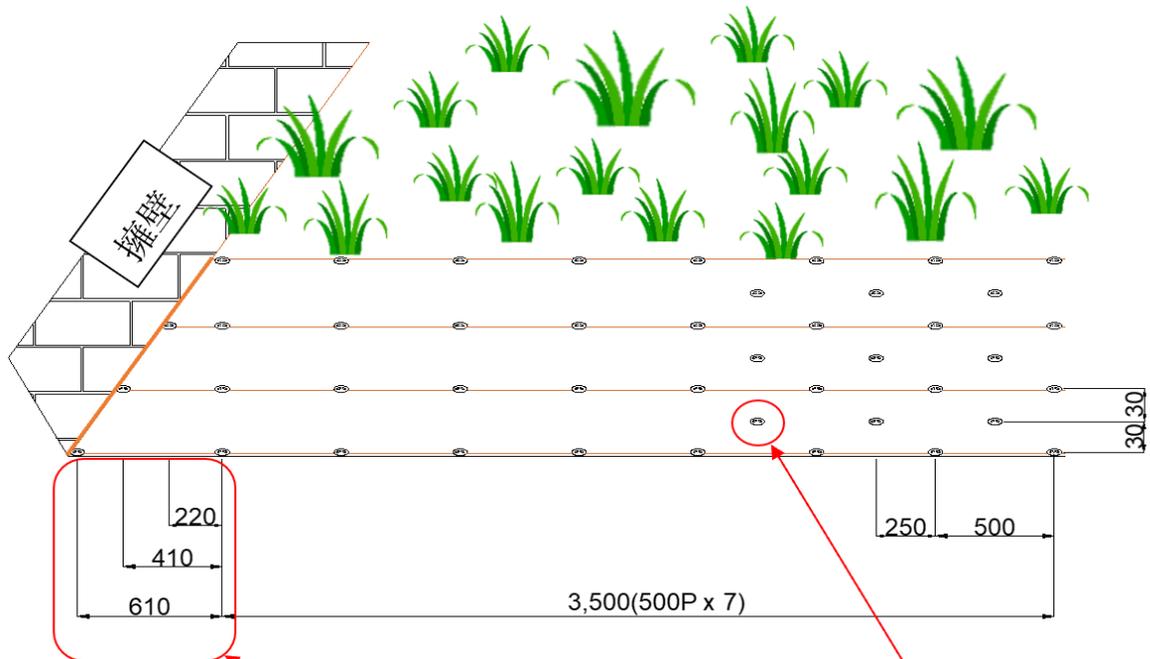
マットを端から貼る事 (①・②・③の順番) で、地山への雨(水)の進入を防ぐ。





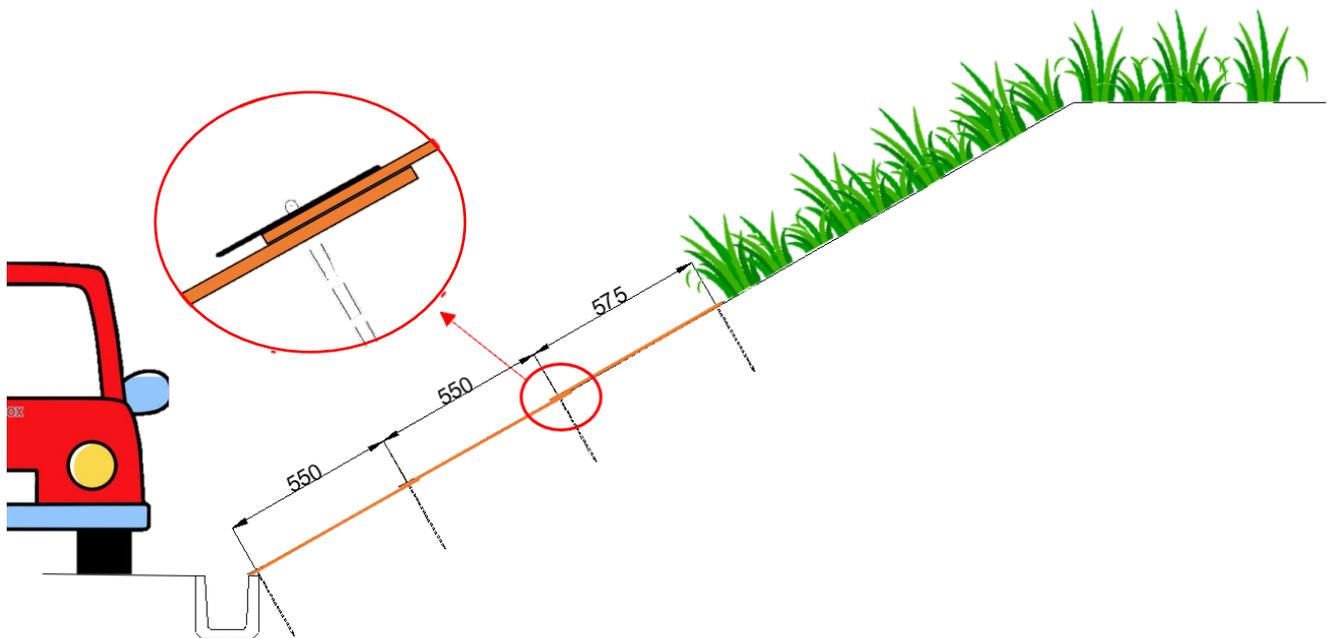
畦畔保護 67.0 m²

例3. 横張り(鎧張り)による防草



擁壁(終点・始点)に沿うように敷設する場合、アンカーピンを端部に打つ。

横張り時、マットの自重による法尻方向へのズレを防止する為、アンカーピンを基準位置の中心部付近へ打ち込む。





横張りによる防草 84 m²

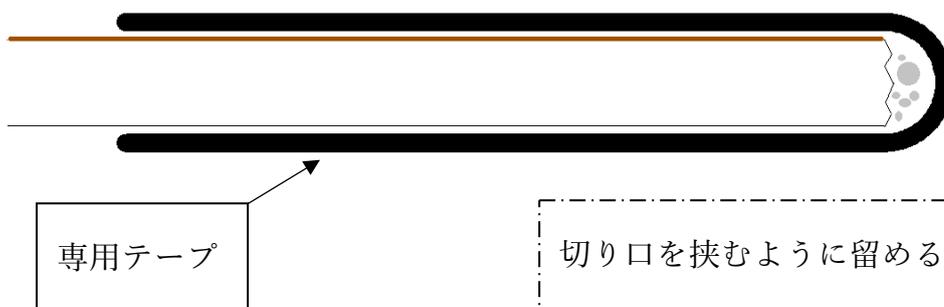
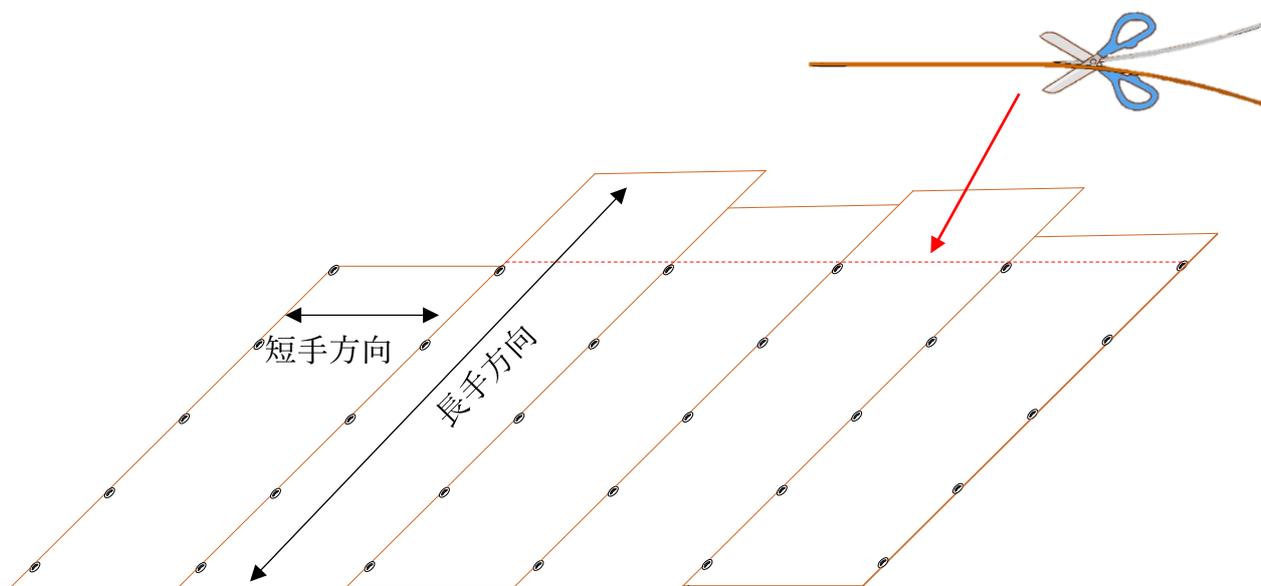
例4. その他

① カット

敷設時、「寸法を合わせたい」「長すぎる」等の時、ハサミやカッターでカットする事ができます。その際、短手方向をカットして下さい。

内部のセメントが漏れそうな場合はカットしたい部分を湿らせ、飛散を防ぎます。

又、カット部分は専用のテープで止め、セメントの流出を防ぐ事もできます。



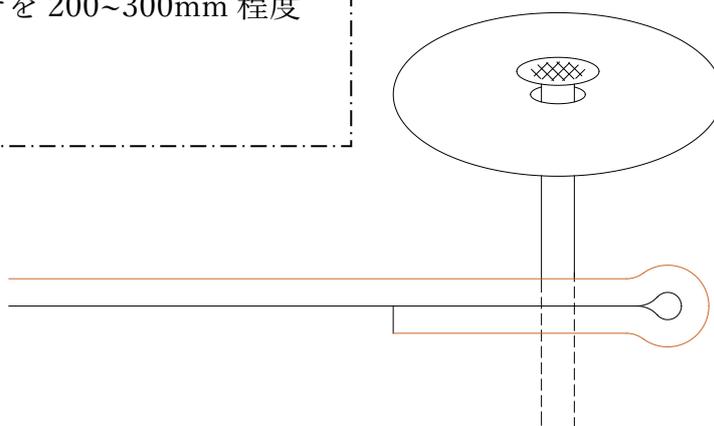
②. 折り曲げ

カットしたくない・出来ない場合、端を折り曲げ

アンカーピンで固定する事も可能です。

その場合、打ち込みピッチを 200~300mm 程度

狭める事を推奨します。



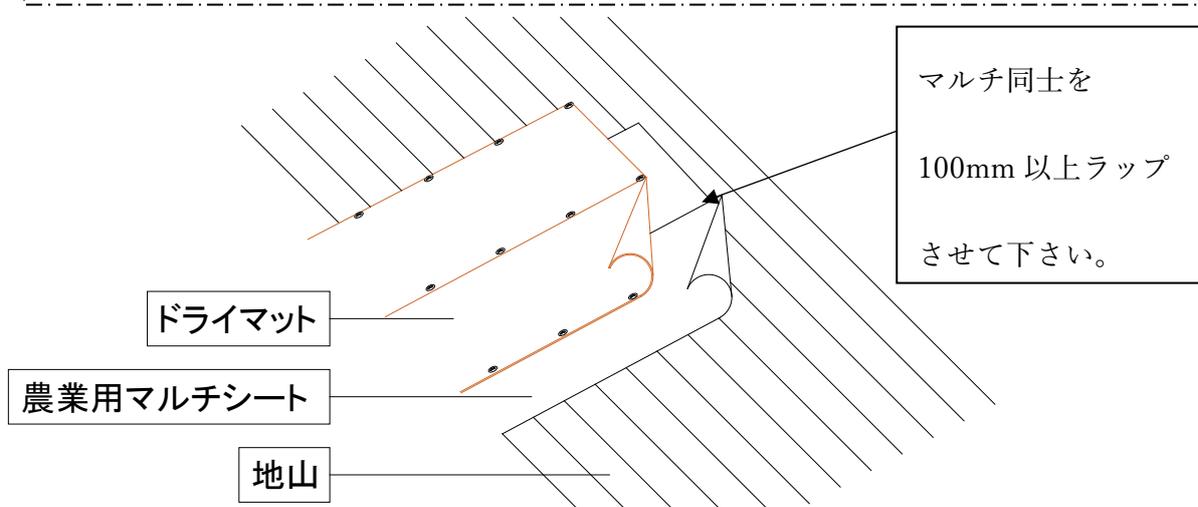
③. 防草効果向上

※マルチ取付(羽根)タイプは P8

地山とマットの間に農業用マルチシートを敷く事で、マットのラップ(重ね)部

から進入する太陽光を遮断し、防草効果が向上します。

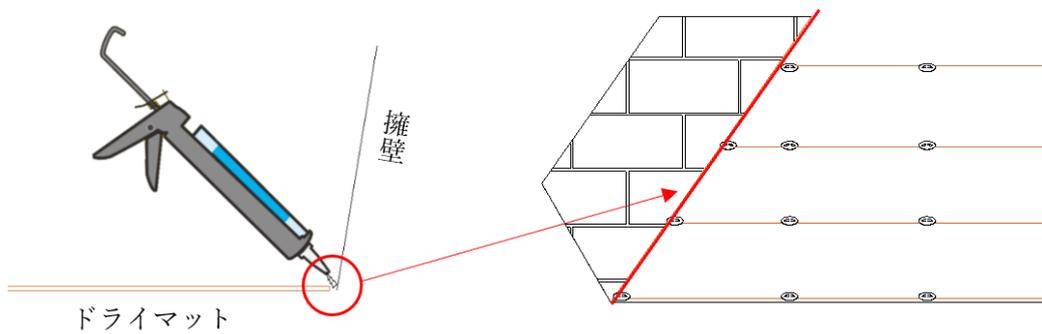
マットとマルチのラップ部は重ならないよう敷設して下さい。



④. 防草効果向上(末端部)

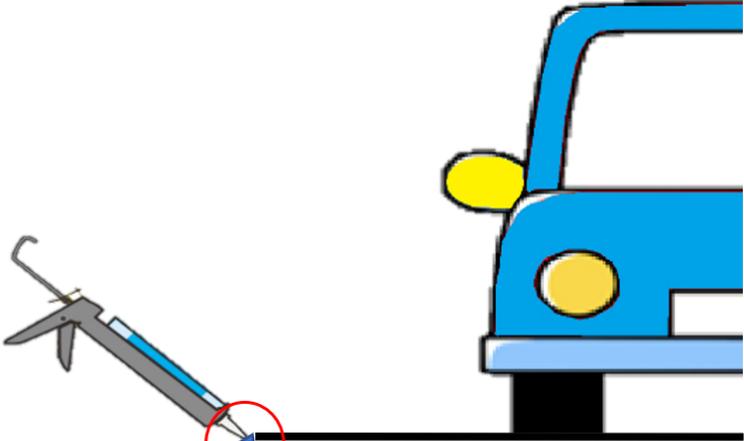
マットと既存の壁面やコンクリート側溝との隙間に生えてくる草を抑制します。

ドライマット - 擁壁間のシリコン注入



ドライマット - アスファルト間のシリコン注入

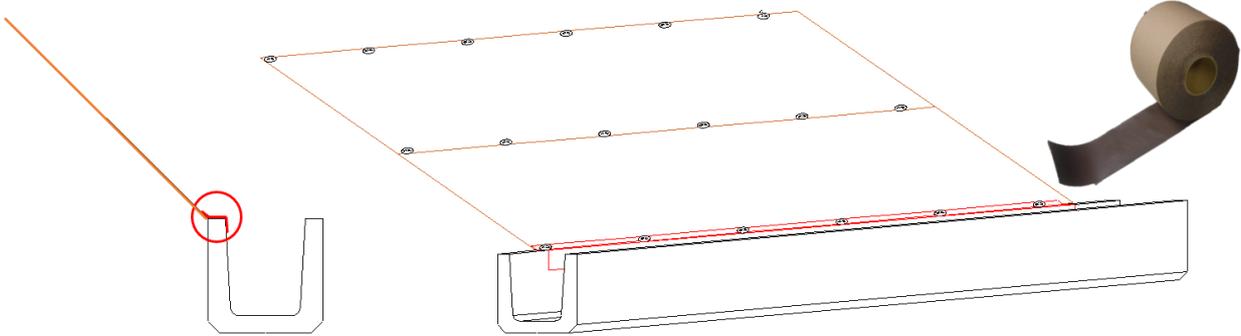
汎用シーリング材や
変成シリコン、
ポリサルファイド系
と云った対候性が良
いシリコンを推奨
します。
又、接着性を高める
為、使用するシリコ
ーンに合った
プライマーを下地材
として使用する事も
おススメです。



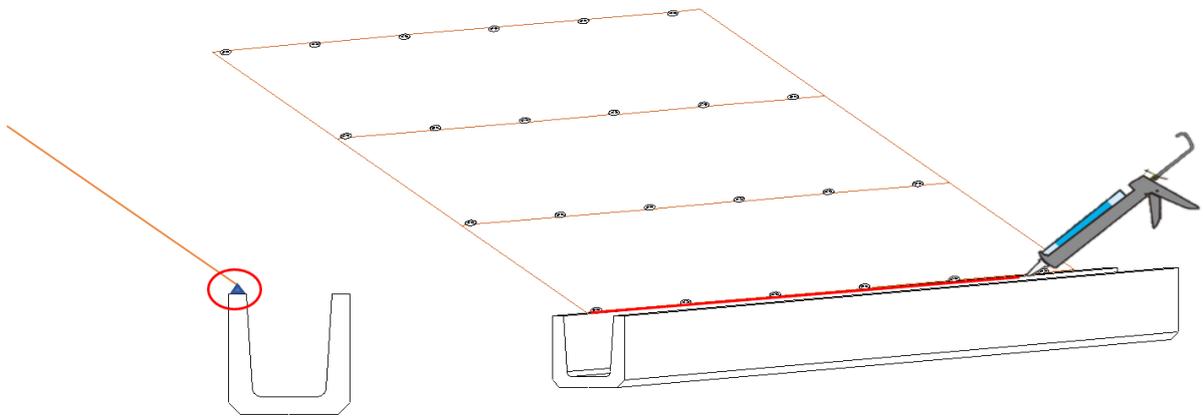
マットを地面に少し
埋める事で隙間を無
くす。

ドライマット(鎧張り) - 側溝間のテープ保護

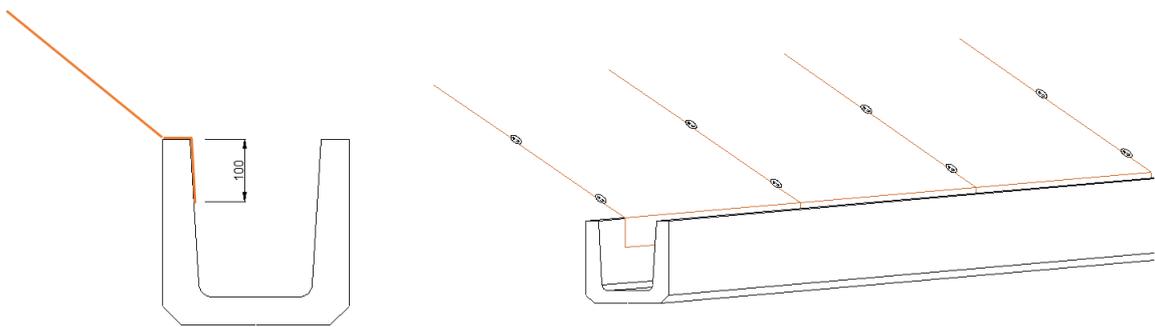
赤線部がテープ貼り箇所



ドライマット(鎧張り) - 側溝間のシリコン注入



ドライマット(縦張り)



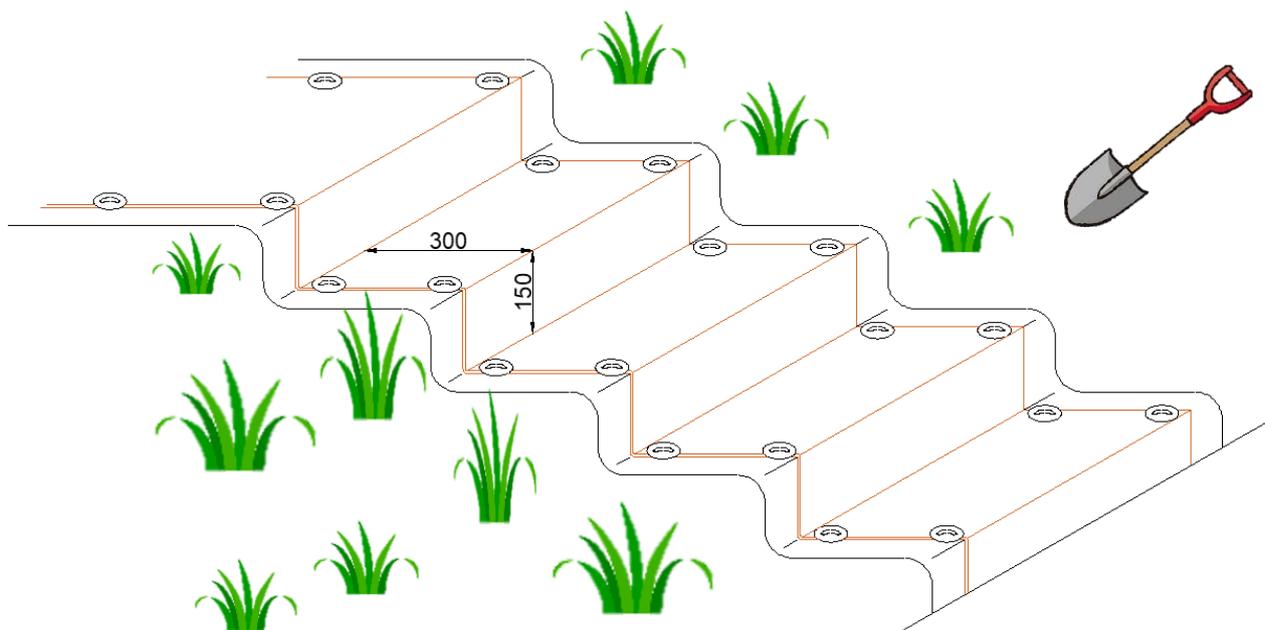
マットを縦に貼った場合、側溝に被せるように垂らす事でシリコンやテープを使用せずに防草効果を得ることもできます。



特殊使用

A. 階段

段々に形成した地山にマットを敷設し、簡易的な仮設階段を作ります。アンカーピンは垂直方向に使用し、隙間が空かない様に出来るだけ地山に密着させるよう打設して下さい。



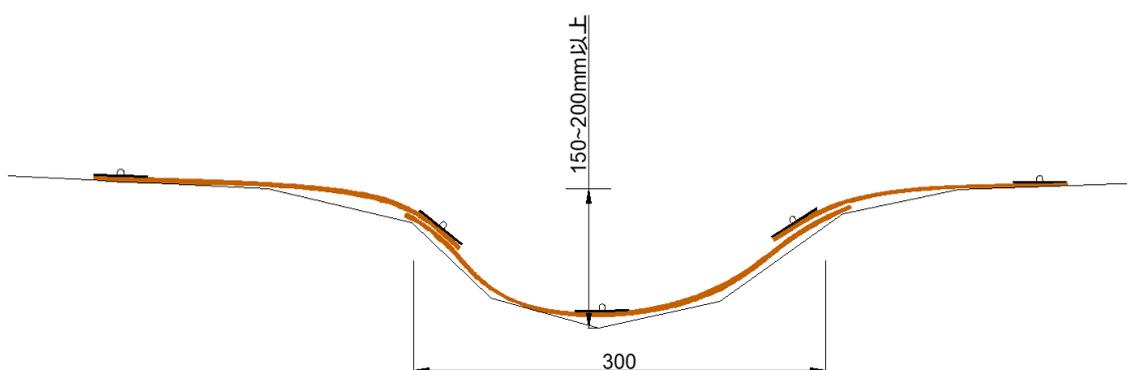
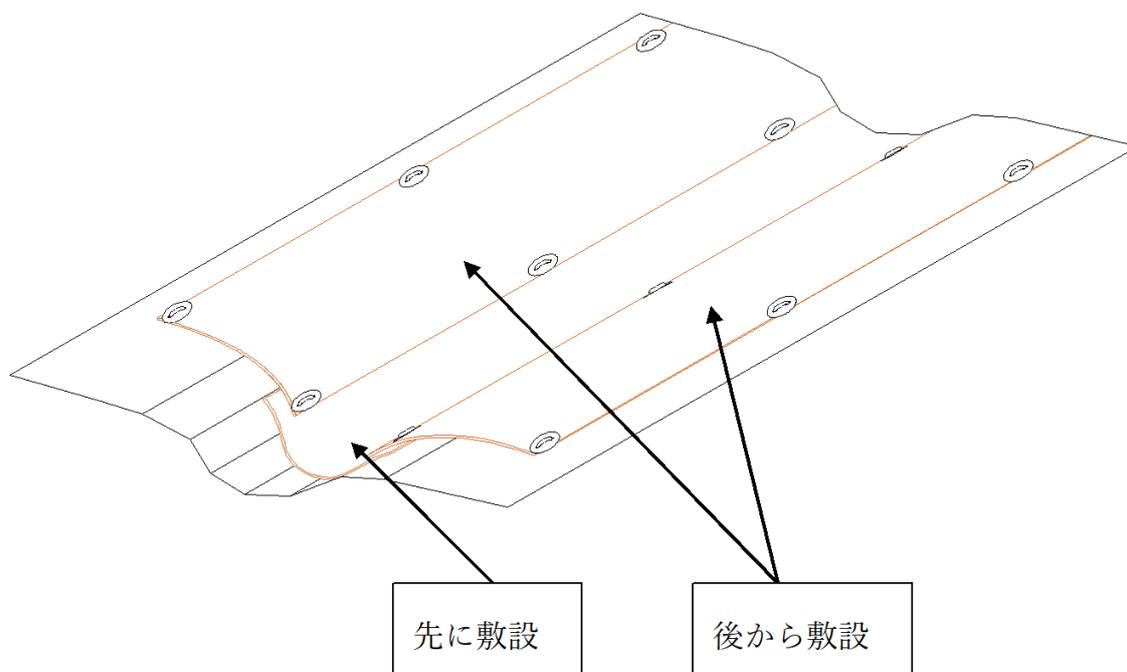
踏み面は 300mm 以上、蹴上げは 150~200mm 以下の一定高さで地山を形成して下さい。又、状況によっては踊り場や手すりを設置して転倒や滑落の防止処置を行って下さい。

B. 側溝

素掘りで形成した溝にマットを敷設し、仮設側溝を作ります。

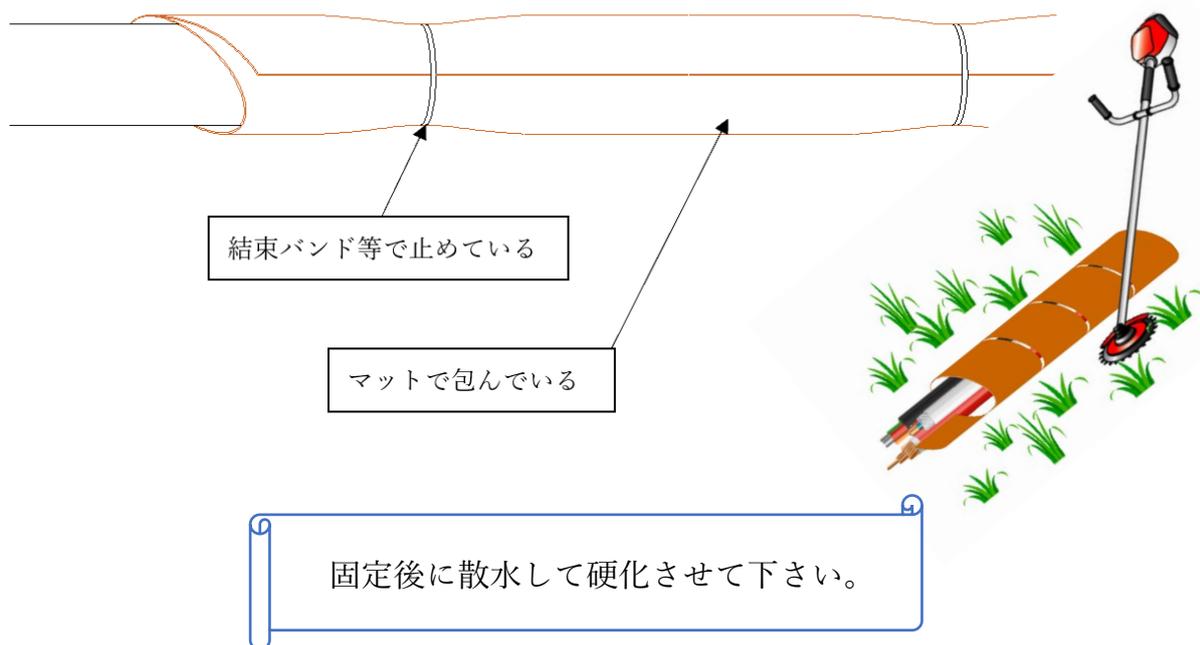
底部分からマットを敷設し、被せるように周囲の敷設を行います。

想定される水流の流量にもよりますが、深さ 150~200mm 程度またはそれ以上掘削する事をお勧めします。最底部へのアンカーピン打設も形成を維持するのに効果的です。



C. 保護材

土場に這わしている電線等にマットを巻き付けたり包んだりする事で、マット内のセメントが草刈機の刃から守ります。



保管

保管目安は封切しない状態で、湿度が低く紫外線や雨の当たらない涼しい場所
で最大6ヵ月ですが、それ以外だと1～3ヵ月以降から製品の品質に変化が発生する恐れがあります。

ドライマットは梱包内にシリカゲルを同梱し、湿度による状態変化を極力抑えています。中に特殊ドライモルタルを充填させている為、納入後は速やかに
ご使用ください。

梱包材で使用しているビニール袋に傷をつけないで下さい。破損や劣化の原因となります。

縦積みで保管すると充填されたセメントが偏り、使用時に硬化しない箇所が発生する恐れがありますので、必ず横に寝かせて保管して下さい。

又、2段以上重ねるとマットの形状を維持している芯材(紙管)が潰れてマットが破損する恐れがありますので、ご注意下さい。

問合せ

クリアーシステム株式会社

TEL: 0836 - 21- 5252

FAX: 0836 - 21- 5759

受付時間 / 8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

(土、日、祝日、盆、年末年始、ゴールデンウィークを除く)

E - m a i l : info@nakamura-k.jp

<https://www.nakamura-k.jp>



クリアーシステム株式会社



想像から創造へ NICE TRY

Nakamura

